

# 「いのち」の教育実践事例

## ☆山辺町の実践

(山辺町立作谷沢小・中学校)

連携

協働

— 学校の特色を生かし、「いのち」の尊さについて学ぶ活動を通して—  
小・中学校併設という学校の利点を最大限に生かし、小中連携、地域との連携のもと、「いのち」の尊さについて学ぶ組織的・計画的な活動を展開している事例です。

### ○ 「いのち」の源を育てる農業体験

- ・ 全校児童生徒が、農業体験を通して、自然との共生や生きる喜びについて考える学習を行っています。県の子どもベンチャーマインド育成事業を受けて、「畑の学校」「田んぼの学校」では、地域の方に農作業を教えていただきながら、共に汗を流しています。自らの手でさまざまな作物を育てることによって、「いのち」のたくましさを実感し、その「いのち」を大切にいただくことで、人が生きることに繋がっていくことを学んでいます。

### ○ 平和と「いのち」の尊さを学ぶコンサート

- ・ 11月、体育館にて、「被爆ピアノ平和コンサート」を開催しました。73年前の広島の原因爆投下でガラスが刺さった傷跡の残るピアノ。ピアノが奏でる美しい音色に耳を傾けながら、平和の尊さについて学びました。一人ひとりにたった一つしかない「いのち」を大切にすることや、平和な未来へ「いのち」をつないでいくことについて、想いを深めるひとときとなりました。

### ○ 「いのち」に触れる「教えて赤ちゃん」

- ・ 地域のお母さん方の協力を得て、赤ちゃんから「いのち」について学ぶ「教えて赤ちゃん」の学習を実施しています（小学5・6年生、中学生）。赤ちゃんに触れ合ったり、母親に子育てについてインタビューしたりする活動を通して、自分自身も大切に育てられてきたことに気づき、自分のいのちを大切にしようとする心を育てます。また、中学生は、子どもの成長のために親や家族が果たす役割について学ぶと同時に、次世代に「いのち」をつなぐ「使命」について気づき、考える機会となっています。

田んぼの先生に  
稲の刈り方を  
教わりました。



調律師で被爆二世の  
矢川さんの講話と、  
戦禍を越えたピアノ  
の音色に平和の尊さ  
を学びました。

### 被爆ピアノ平和コンサート



私もこうやって  
育ててもらった  
んだね。

